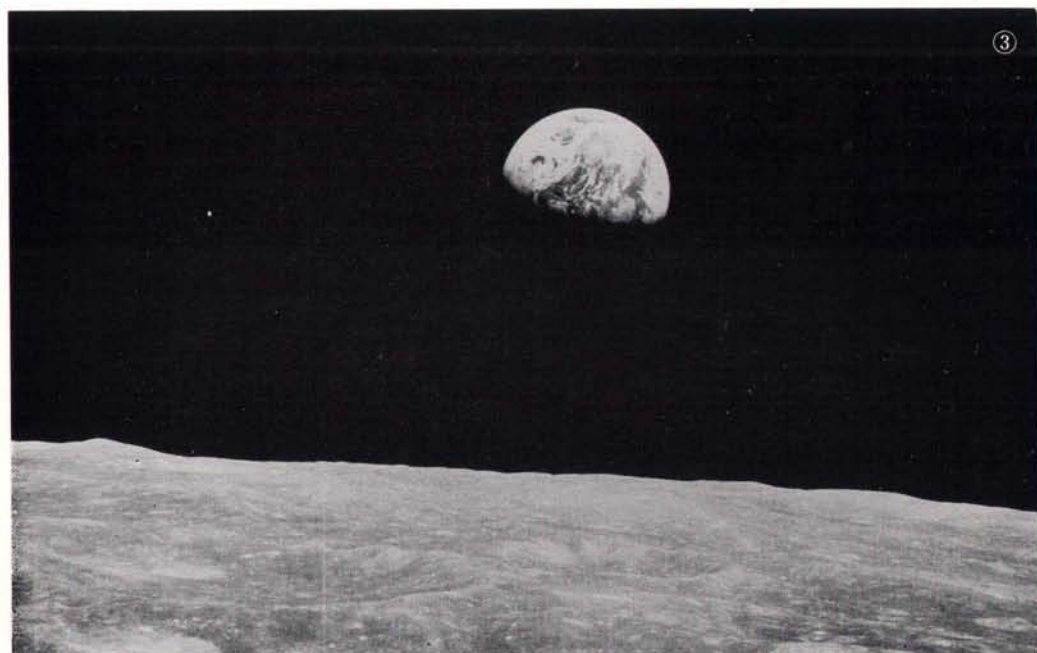
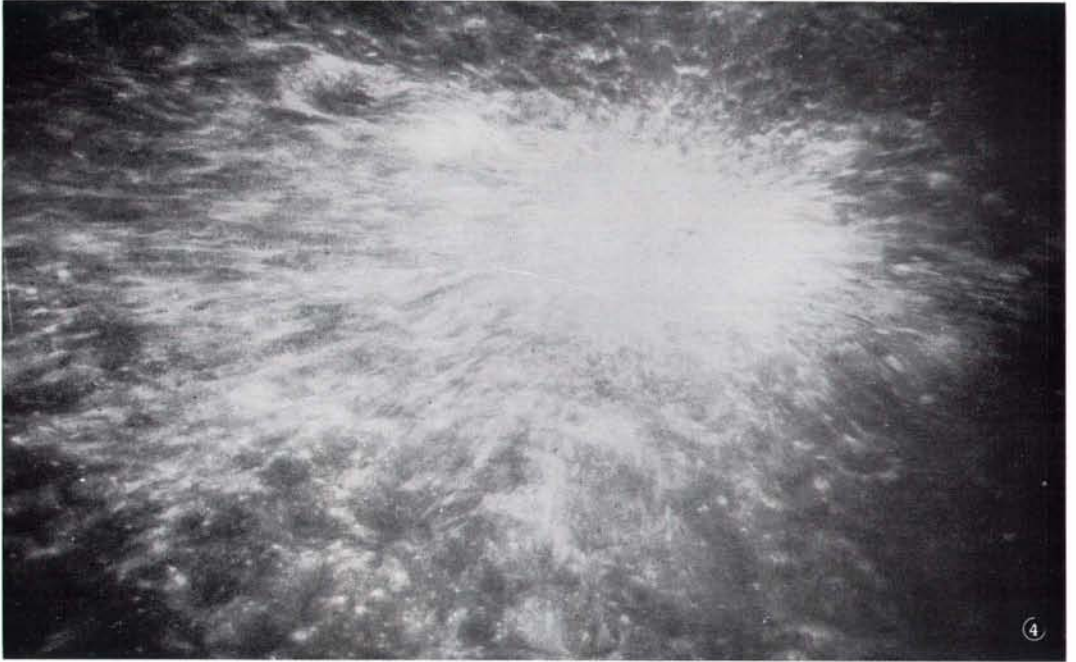


月報アルバム

アポロ8号の見た月 (I)

昨年暮28日太平洋に無事着水したアポロ8号は、飛行中に撮影した多くの興味ある写真をわれわれに提供してくれた。①12月26日、月からの帰途に撮った月令19に相当する地球。②月に向う途中、月面の東経70°のあたりから見た月面。中央上の黒い部分が危機の海、これより右の部分は地球からは見ることのできない部分である。③12月24日、孫衛星軌道にのった直後に撮った地球。ゆるやかに波打つ月の地平線迄は約780 kmの距離である。





アポロ8号の見た月 (II)

④アポロ8号が月の周回飛行中、月の裏側で撮影した明るい光条を周囲に放っているクレーター。太陽はほとんど直上に輝いている。

⑤手前に見える大きなクレーターはゴクレニウス (東経45°, 南緯10°)。クレーターの直径は約65km、虫がはった跡のような溝がクレーターを横切っているのが興味深い。12月24日、110kmの高度から撮影したもの。

⑥アポロ11号の着陸候補地である静かの海の内部を北西に向けて撮った写真。⑤や⑦の山岳部を撮ったものと比べると、その地質の違いがよくわかる。

⑦月面の西経160°のあたりから南の方に向けて撮った、地球からは見ることのできない大きなクレーター。遠くに見える月の地平線までの距離は約440kmである。

(写真はいずれも米国大使館 USIS 提供)

